

カントリーレポート

1.研修員に関する情報

1/4頁

氏名（フルネーム）	HOSEA KIPYEGON WENDOT	国 名	ケニア	
連絡先	Fax: 254-2-723392 Email: Wendol12@yahoo.com			
最終学歴	IHE-オランダ デルフト 水理工学			
大学または大学院での専攻分野	土地・水開発			
論文のタイトル	MWEA灌漑区性能評価			
所 属 組 織	名 称	国営灌漑委員会（N I B）		
	役割	国内の国営灌漑事業の計画設計、開発と管理		
	人員数	88		
組織内の部署	名 称	エンジニアリング		
	職務内容	組織の灌漑・土木社会基盤の計画設計、実施、保全		
	人員数	14		
研修員の職務内容	灌漑施設の設計、施工、管理。水管理に関する調整業務、灌漑事業に関する作付スケジュールリング。			
組 織 図	本部組織図（*NIB組織図は別紙参照） <pre> graph TD A[本部長] --> B[次長] A --> C[上級幹事] A --> D[技術系次長] B --> E[会計主任] B --> F[情報官] B --> G[事務官] B --> H[上級人事官] C --> I[幹事] D --> J[主任技師] E --> K[上級会計] K --> L[会計員] F --> M[コンピューター・オペレーター] G --> N[秘書、事務員、運転手] H --> O[人事担当官] J --> P[上級技師] P --> Q[技師] Q --> R[製図士、メカニック] </pre>			
職 歴	年から	年まで	ポスト	組 織 名 称
	1995	1995	3ヶ月オリエンテーション	N I B
	1995	現在まで	灌漑・土木技師	Mwea, Ahero, Perkerra灌漑事業

2. 管轄地域の概要

国家規模のプロジェクトを担当している研修員は、国全体の情報を示すこと。ある特定の地域を担当している研修員はその地域の情報を記すこと。それぞれの情報について、データおよび統計の採取された年度を付記すること。

項 目		情 報							年 度	
国または管轄地域名		国営灌漑委員会(NIB)関連事業								
人 口		72, 500							2000	
気 候		平均気温	23℃	最高気温	37. 5℃	最低気温	12℃		2000	
年間降水量		1100 mm							2000	
面 積		135 km ²							2000	
土地利用状況 (%)		耕地	65%	畜産農場・牧場	20%	沼地	5%	その他	10%	〃
灌漑農地面積		95 km ²							〃	
年間淡水取水量	総量 (km ³)	1090 km ³							〃	
	水資源総量に対する比率 (%)	7 %							〃	
	1人当りの量(m ³)	36, 000 m3							〃	
利水の内訳	生活用水	地表水	27 %			地下水	0 %		〃	
	農業用水	地表水	62 %			地下水	0 %		〃	
	工業用水	地表水	11 %			地下水	- %		〃	
産業別人口比率 (%)		第1次産業	3%	第2次産業	-%	第3次産業	-%		〃	
主要農業生産物 (トップ3の生産物名と生産高)		ランキング ⁶	生産物名			生産高				
		第1位	米			40, 000 t			1998	
		第2位	とうもろこし			800 t			〃	
		第3位	タマネギ、唐辛子、綿			900 t			〃	

3. 問題点と現在までに行われた対策

項 目		現状の問題点及び困難な点	問題点及び困難な点について取られた対策状況
1	水資源の開発(地表水、地下水について別々に記入のこと)	1-資金難のため地表流出の貯水施設が不足。 2-地下水資源の枯渇。 3-掘削が高価。	資金強化および貯水施設建設費を安くするための技術革新(例 屋根集水設備など)
2	貯水送水施設の維持管理	1-貯送水施設が少ない。既存の施設は急速にシルトが堆積。	1-貯水施設の適切な管理についての研究が必要。 2-集水域での土壌管理技術の改善が必要。
3	土質分析・土壌管理	1-必要な技術がない。 2-土壌分析のための機器がない。	1-専門知識の向上。 2-歩留まりを改善するため、土壌分析をさらに進める。
4	圃場水管理	1-適切な管理、計測がなされていない。 2-水管理システムが稚拙。	1-老朽化した施設をシンプルな近代化により、リハビリテーション。 2-水管理システムの改善。
5	水質管理・分析	灌漑水質の試験設備が乏しい。	水質分析用サンプルは時々省当局まで持ち込まれるが、時間がかかり、コストも高い。
6	緑地保全・植生評価	農家はたびたびbundで耕作している。一方家畜は緑地で放牧されている。	bundsで耕作しないよう、そこで放牧をするよう、農家に助言。
7	営農・森林管理と食糧政策	耕地開発のための森林破壊。→国土の大部分が旱魃の被害を被っている。	1-森林復旧、政府管理下の緑化を実施すること。 2-旱魃を削減するため、貯水機能を強化すること。

4. 研修員の研修コースに対するリクエスト

研修コースにおいて自分が学びたい内容を優先順位に従って、記入しなさい。（5点以上挙げてもよい。）

順位	項目(キーワード)	内 容
1	貯水管理システムのリハビリテーションと近代化	灌漑設備の運用において、 <u>水管理技術の改善</u> が必要。私は、これらの <u>システムについて知識を得たい</u> 。そして、 <u>現行の配水システムを改善</u> していきたい。
2	取水及び制水構造物	水が無駄になっている原因について、きちんと解明されていない。 <u>灌漑区の作付け内容に応じた水要求量を割り出す知識を得て、水の浪費を削減したい。</u>
3	貯送水施設	現在、貯水システムがない。いくつかの多年性の河川があるが、降雨はerraticであり、 <u>ダム建設</u> についてさらに学びたい。
4	土壌保全・管理の手法	集水域において、深刻な土壌侵食が起きている。私は、 <u>土壌侵食のメカニズムと防止の手法を学びたい。</u>
5	コンピューター・ソフトウェアとモデリング	私の国では、有用なソフトウェアの情報が入手しにくい。私は、 <u>水保全と管理に必要な新しいコンピューター技能(ソフト活用)をぜひ修得したい。</u>